



ホッピーだより No. 442

2021 年 9 月 1 日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6
Tel 0145-45-3141 HP(<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>)
Facebook([@HobetsuMuseum](https://www.facebook.com/HobetsuMuseum))

公衆無線 LAN 設置

Free  Wi-Fi



館内に公衆無線 LAN（フリーワイ
ファイ、フリー Wi-Fi）を設置しました。
館内でスマートフォンやタブレット
端末、パソコンを使ってインターネット
に接続できるようになりました。

四カ国語に対応した展示解説文

QR コードの設置

四カ国語（日本語・英語・韓国語・中国語（簡体字・繁体字））に対応した展示解説文の QR コード（二次元バーコード）を設置しました。館内に展示されている資料など約 100 点の展示解説文を四カ国語で読むことができます。お手持ちのスマートフォンなどによる QR コード読み込みで解説文を読むことができます。



設置した四カ国語に対応した展示解説文の QR コード



四カ国語対応 QR コードの設置（カムイサウルス 関連）

カムイサウルスのこれまで⑥



発掘前のカムイサウルスが産出した地域周辺（白船沢）の野外地質調査データ（西村が2011年に作成）。

左: 沢沿いのルートマップ（沢筋と地層の露出・地層の種類【色で表現】・地層の向きを記録）。右: 野外で作成した柱状図（地層の種類、厚さと重なりを表現したもの）の一部。清書したものは2019年出版のカムイサウルス論文 (<https://www.nature.com/articles/s41598-019-48607-1>) の図1(Figure 1)と補足図S1 (supplementary Figure S1)。

カムイサウルスが産出した地層の地質時代は、発見者の堀田良幸氏など地元の方には「白亜紀末のマーストリヒチアン期」であることは知られていましたが、学術上は、地層と産出する化石研究の空白域だったため、このことを科学的に示せるようにする必要がありました。また、発掘のためにカムイサウルスが埋まっている地層面（骨化石が埋まっている面。骨が埋没した当時の海底面）の向きも調べる必要がありました。



カムイサウルスが産出した地層は、茶色に風化して観察できる場所が限られていたこと、もとの地層（○で示した所で観察できる）の縞々（地層面）がほとんど保存されない古環境だったので、地層の向きを調べるのも極めて難しかった。

西村智弘普及員（当時）は、この地域を含めた穂別地域の白亜系の地質調査を進めていました。博物館に収蔵されていた化石が恐竜であることが判明し、その発掘調査が期待され始めていたので、恐竜が産出した白船沢の地質調査を2011年に優先的に行いました。地質調査と採集した化石の結果、カムイサウルスが産出した地層がアンモナイト:ノストセラス・ヘトナイエンゼ（*Nostoceras hetonaiense*）帯の「白亜紀末マーストリヒチアン期最前期（7,200万年前）」であることを明らかにしました。また、カムイサウルスが埋まっている地層の向きも明らかにし、発掘作業に備えました。

学芸員 西村智弘

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10名様以上)	200 円	50 円

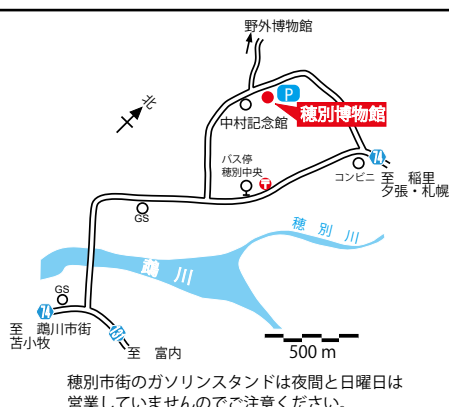
小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2021年9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■ 休館日 ○ 町民無料観覧日 — 臨時休館

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一度に観覧できる観覧者の上限は40名とし、混雑時には入場制限を行う場合があります。また、告知期間の長さに関わらず臨時休館になる場合もあります。ご了承ください。



穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。